

協議会ニュース

No. 171

2021.09



Contents

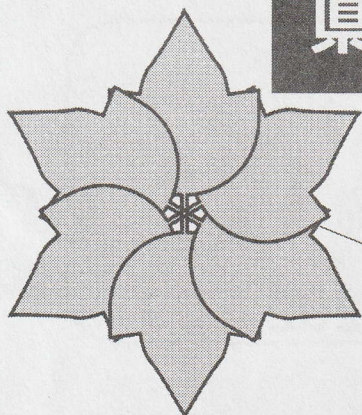
- | | |
|------------------------|-------------|
| 1 表紙 | |
| 2 県協議会創立 40 周年記念講演会 | 事務局 石原 則義 |
| 3 自然観察指導員講習会報告 | 名古屋支部 浅井 昭枝 |
| 4 天白川の水源を訪ねてみよう (7/31) | 名古屋支部 滝田 久憲 |
| 5 初夏の湿原植物(タカドヤ湿地 7/18) | 西三河支部 三田 孝 |
| 6 愛知県の外来植物 3 | 東三河支部 瀧崎 吉伸 |
| 7 八竜湿地 (湿地シリーズ 5) | 名古屋支部 藤原 純子 |
| 8 支部自慢 | 尾張支部 内海 勇夫 |
| 9 新指導員紹介 | 事務局 石原 則義 |
| 10 新指導員紹介/編集部から | 事務局 石原 則義 |

今号の表紙

ナミアゲハの幼虫

(名古屋支部) 平山 希能(投稿)
生き物のアップの写真大募集中!

県協議会創立 40 周年記念講演会



式典・記念講演

愛知県の木であるハナノキの葉をかたどってデザインされた、愛知県自然観察指導員連絡協議会のマークです。

6 枚の葉が重なる形は、名古屋、尾張、知多、西三河、東三河、奥三河(現在機能していません)の6つの支部を表しています。

① 式典

受付/13:30~

14:00~14:20

◆日時：2021 年 11 月 3 日(水・祝) 場所：日本特殊陶業市民会館 3F 第 1 会議室
名古屋市中区金山一丁目 5 番 1 号 TEL：052-331-2141

来賓あいさつ、感謝状贈呈、新入会員の紹介、新入会員に自然関係の本を贈呈予定。
この 4 月には、愛知県自然観察指導員連絡協議が発足して 40 年になりました。
各支部自然自慢のパネルも展示予定です。是非ご参加ください(チラシ参照)。

② 記念講演会・意見交換会

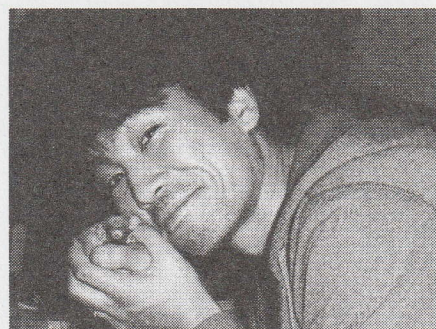
14:30~16:20

◆講師／川田 伸一郎 氏
演題／「モグラの分類と生態」
【プロフィール】

名古屋大学博士課程修了(農学博士)。貧乏なオーバードクター生活を経て 2005 年から国立科学博物館動物研究部の哺乳類担当。著書として「モグラ博士のモグラの話」、「モグラ、見えないものへの探求心」、「はじめましてモグラくん」がある。

2018 年に監修した科学絵本「もぐらはすごい」が第 24 回日本絵本賞大賞を受賞。

また、月刊誌「ソトコト」にコラム「標本バカ」を連載中。



川田 伸一郎 氏

11/03(水・祝)
日本特殊陶業市民会館

3F 第 1 会議室

JR・名鉄金山駅下車、北口
徒歩 3~4 分

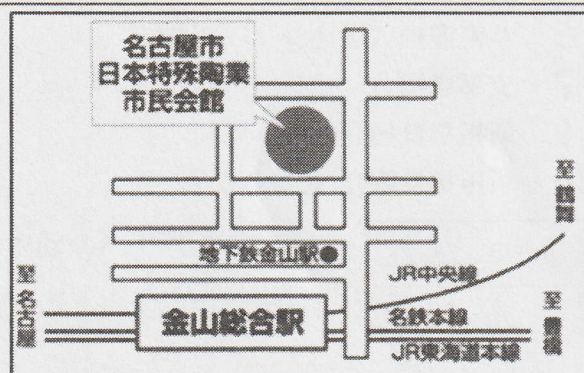
申込締切：事務局 10/27(水)必着

※コロナ禍の場合は、中止もあり得ます

① 式典 14:00 ~ 14:20

② 記念講演会 14:30 ~ 15:50

意見交換会 16:00 ~ 16:20



自然観察指導員講習会報告

名古屋支部 浅井 昭枝

7月24日(土)・25日(日)に自然観察指導員講習会が開かれました。

コロナ禍で開催する事が危ぶまれましたが予定通り実施となりました。

今年度はコロナ対策のため、1日目はオンラインでの講義となりました。私はスタッフとしてお手伝いする事になりましたが、パソコンは得意ではありません。どのように進めるのか、上手くネットにつながるのかとても心配でした。事務局との事前調整で、ズームにつながった時はホッとしました。

24日(土)はオンラインで受付もスムーズに進み、参加者の皆さんの自己紹介では一人一人の顔が見られて良かったです。午前は「自然の保護」、午後は「自然の観察」というテーマで講義を行いました。どちらも2時間程で、途中で休憩があり、その時は自宅視聴の利点を生かしティータイムをもつことができました。講師の方の顔も見え、資料も見やすく、音声も聞き易く、質問時間もたっぷりあり、充実した内容で1日目が無事終了しました。

2日目は小幡緑地本園での野外実習。午前は3班に分かれて講師の方と一緒に本園内で、「森を通して自然の仕組みを見にいこう」をテーマに、観察しながらの講習でした。暑い日でしたので熱中症対策も心掛けながら、なるべく日陰のある所を選んで講習をしていただきました。

午後は講師がさまざまに用意したテーマ探しの材料の中から、参加者一人一人が各自のテーマを選んで、その後のグループ観察会でテーマにそった観察講習が行われました。受講生の皆さんはいろいろ考察しながら森の中を散策していました。

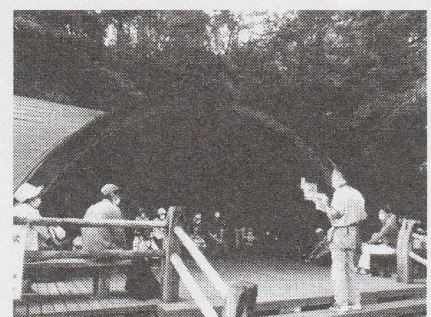
私は指導員になって10年になりますが、本講習会へスタッフとして参加させていただくのは今年が初めてでした。参加者のみなさんの熱心な眼差しや学ぼうとする姿勢に、10年前の自身の姿を重ね合わせて、当時のワクワクした気持ちを思い出させてもらえました。私にとって自然観察とは、楽しみであり、学びであり、感動の連続でした。本講習会から一人でも多く、自然観察の素晴らしさに触れ、感動を実感し、さらには他者に伝えていける仲間が増えていけばいいなあ、と自然観察の素晴らしさを再確認したように思います。

今回の自然観察指導員講習会には、県外9名・県内28名、合計37名の方が受講しました。県協議会には、16名の方が入会顶けました。16名の方の自己紹介は、協議会ニュース171号に掲載しました。

秋には新指導員のための研修会も用意されているので、是非参加して欲しいと思います。



野外実習の風景



自然観察会の講評

天白川の水源を訪ねてみよう！

名古屋支部 滝田 久憲

名古屋支部では、本年7月31日(土)に天白川上流部の水源の一つとなっている岩藤川で「天白川の水源を訪ねてみよう！」というテーマで名古屋市環境局と協働で自然観察会を実施しました。これは、名古屋市環境局のなごや生物多様性センターが事務局をしているなごや生物多様性保全活動協議会（当支部も構成メンバーとなっている）が2012年から開催している「サマースクール」に企画参加し、実施したものです。

当日は、日進市総合運動公園出入口の石碑前に午前9時30分に集合しました。参加者は子供20名、その保護者と生物多様性センター職員2名でした。名古屋支部からは5名の会員がスタッフとして参加しました。主催者によるスタッフの紹介や注意事項などの説明の後に、早速、岩藤川の二つの観察地を目指して出発しました。

日進市総合運動公園の近くを通る車道沿いの道を東に向かって進むと左手に田園地帯が現れ、しばらくして左側に岩藤川に近づく道が見えたので、道なりに進みました。すぐに川幅が小さい岩藤川が現れました。川沿いにしばらく進むと、水深も膝下位で生き物観察に適した場所があり、そこで最初の生き物観察を行いました。



岩藤川での生き物観察

三十分位かけ、子供たちはタモを使って水辺の生き物を採取しました。採取した生き物は種類ご

とにバットや観察用の水槽などに分類され、最後に、スタッフが採取した生き物解説を行いました。その後、二番目の観察地に向かいました。

車道沿いの道を進み、田園地帯の中に入ると、目の前に田んぼ、畑、水路、川、ため池、雑木林などの里山の多様な自然が広がっていました。岩藤川を右手に見ながら、川沿いの道をさらに進むと左手に大きなため池が現れました。その道をさらに進むと、川幅も小さく、水深も浅い観察に適した場所がありましたので、そこで二度目の生き物観察を行いました。ここでも、先ほどと同様に採取と最後の生き物解説を行いました。

カワムツ、マドジョウ、ヨシノボリ、メダカなどの魚、トノサマガエル、ヌマガエル、アマガエルなどの両生類、アメリカザリガニ、スジエビ、カワニナ、何種類かのトンボのヤゴなどの水辺の生き物を観察することができました。

今回、訪れた岩藤川では、多くの生き物を観察することができました。特に、周りが樹木だけで水のきれいな水源部に比べて、田んぼや畑がある下流部の方が多くの生き物が生息しており、水辺環境が生物多様性の確保に果たす役割の大きさとその保全の大切さなどを改めて感じました。

ところで、今回のプログラムには定員の約5倍の応募があったそうです。子供が水辺の生き物が大好きなのは昔から変わりませんね。



天白川水源部の里山風景

初夏の湿原植物（タカドヤ湿地）

西三河支部 三田 孝

日 時：2021年7月18日（日）
場 所：豊田市小田木町 タカドヤ湿地
参加人員：21名（一般13 会員8）

新型コロナ禍のため愛知県に緊急事態宣言が出され、続くまん延防止等重点措置が解除される7月11日まで西三河支部は支部主催の行事を取りやめてきました。この紙面で報告を予定していた「天生湿原研修会」も中止としました。代わって今年度初実施の支部主催観察会の報告をします。

支部主催観察会は定例ではなく単発で、特徴ある自然を見ようというものです。今回は豊田市小田木町の黒田ダムへ向かう途中にある「タカドヤ湿地」を観察しました。

ここは愛知高原国定公園で標高約800m。堤防で仕切られた二つの湿地とその上に池があります。周囲には遊歩道が整備されています。昭和30年頃には発電所建設の残土で堤防が築かれました。



湿原の様子

その後40年ほど経過して現在のような池と湿地が形成されました。標高も高く、東海丘陵要素植物のない独特な植生の湿地となっています。

当日は五十嵐、山本が9時から12時まで湿地を一周しながら案内をしました。空は梅雨明け直後の快晴。エゾゼミの鳴き声が湿原一帯に響き渡り初夏の雰囲気がいっぱい。池の脇から遊歩道に入るとミズナラの木がありました。昭和の頃に植栽された木もあるようです。

湿原はノハナショウブが終わり、クサレダマの黄色い花、チダケサシの白い花が盛りを迎えていました。



クサレダマ



チダケサシ

他にはオオミズゴケ、ヤマドリゼンマイ、オタルスゲ、ドクゼリ、ゴマナ、ヒメシロネ、レンゲツツジなどが見られました。猛毒のドクゼリは根茎がタケノコ状でセリと区別できるとのこと。

キノコに詳しい参加者からはチチタケとチダケサシの関係のお話もありました。

チチタケは傷つけると乳白色の粘りのある液体を出しますが、手につくと粘るので、チダケサ



チチタケ

シに挿して採集したのだそうです。

小さな池の上の枝にはモリアオガエルの卵塊があり、既に池に落下していてオタマジャクシがいっぱい。湿原を仕切る土手には立派なツチアケビが見られました。



ツチアケビ

一周1km弱を2時間半で回りました。分速6mですね。モミジなどの植栽もあり人の手が入っている自然であることは念頭に置きながらも楽しめる遊歩道でした。

愛知県の外来植物 3

東三河支部

瀧崎 吉伸（愛知県外来種検討委員）

3. 有機肥料(堆肥)由来の帰化植物

愛知県で初めて検証された帰化植物にオワリセンダングサがあります。南米原産のひつつき虫です。葉の形がホソバノセンダングサ *Bidens parviflora* Willd. に似ているので、長いこと混同されていました。2011年に当時の愛知教育大学生物学教室標本室（AICH：現 愛知みどりの会標本室）の標本を検討する中で、ホソバノセンダングサとは比べものにならないほど頭花が大きいことが判明しました。そこで *Flora of North America* や *Flora Europaea* を当たって検討したところ *B. subalternance* DC. であることがわかり、オワリセンダングサの和名を与えました。



▲オワリセンダングサ

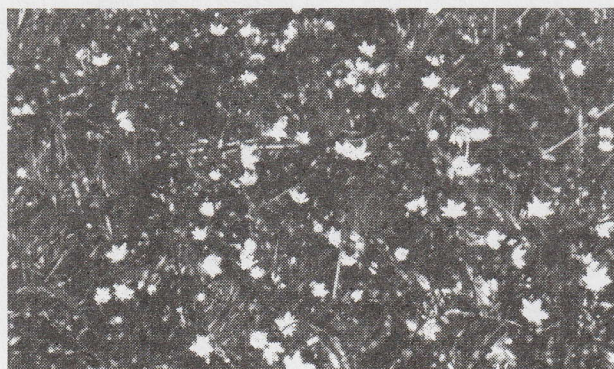
さて、このオワリセンダングサですが、尾張部の庄内川河口付近から飛島村あたりにかけて非常に多く見られます。ひつつき虫なので人や物の移動に伴って分布を広げるわけですが、なぜこの地域に多いのでしょうか。どうやら、それには羊毛クズ由来の堆肥が関係しているらしいのです。毛織物業の盛んな尾張西部では、製糸をした後に残る羊毛クズを堆肥化して農地に入れていました。羊毛は主にオーストラリアから

来ていますが、このオワリセンダングサはオーストラリアに早くから帰化していたようです。飛島村では、写真のような密生群落も観察できます。



▲オワリセンダングサの密生群落

同じように堆肥由来の帰化植物としては、東三河南部に特に多く見られるノハラツメクサがあります。これは、旧陸軍騎兵



▲ノハラツメクサ

隊の馬糞を堆肥利用した豊橋市南部の高塚地区から広がったようです。タカツカグサの名前がつけられたこともあるそうです。

その他、国内帰化種のマルバツユクサも、有機栽培が盛んに行われ出してから急速にこの地方に広がり始めたようです。

帰化植物の侵入経路は実にさまざまで、それを探るのも帰化植物研究の楽しみの一つです。

八竜湿地(湿地シリーズ5)

名古屋支部 藤原純子

八竜湿地は、名古屋市東北部の丘陵地にある八竜緑地の谷間にできている湧水湿地です。酸性度が高く貧栄養のため特有の植生を示しています。周囲のアカマツ林とコナラ林が水源の森となっています。

1970年代から調査・研究が行われ、1986年には八竜緑地が特別緑地保全地区となり、生態系保護のため湿地にフェンスが設置されました。大学、学識経験者、名古屋市と「水源の森と八竜湿地を守る会」で協働管理をしており、現在も定期的に調査が行われています。

八竜湿地には、東海丘陵要素植物群の内、シデコブシ・マメナシ・クロミノニシゴリ・シラタマホシクサ・トウカイコモウセンゴケ・ウンヌケの6種が自生しています。

春にはコナラ林の低木層としてコバノミツバツツジが森をピンクに染め、湿地にはハルリンドウが青いグラデーションを作ります。その中に白やピンクの花もあって観察者の楽しみになっています。

秋には湿地の水の流れに沿ってシラタマホシクサが一面に咲き東海地方特有の湿地の風情を醸し出しています。

その他、モウセンゴケ、イシモチソウ、ミミカキグサ、ホザキノミミカキグサなどの食虫植物や、サギソウ、サワギキョウ、ヒナノカンザシ、ズミ、サワフタギなど湿地性植物や湿潤地を好む植物が多く生育しており、緑地全体では約300種類の植物が自生していることが確認されています。

また、ヤマトサンショウウオやヒメタイコウチ、ハッチョウトンボなども生息しており、外来種や移入種の持ち込みは一切禁止しています。

毎月第一日曜日に定例観察会を、毎年春

と秋には名古屋市との共催で八竜緑地自然観察会を行っており、フェンス内を案内し折々の自然を楽しんでいただいています。



▲ 春の八竜緑地自然観察会

八竜緑地の保全活動は1993年から始められました。現在は「水源の森と八竜湿地を守る会」が名古屋の貴重な財産であるこの湿地を次世代に引き継ぎたいという思いで保全活動を行っています。

調査結果を基にして、植生遷移や乾燥化が進んだ場所の復元を中心に年次目標を定め、月6回、毎回10人前後の会員が作業を行っています。



▲ 湿地の保全作業

また会では地元の小学校2校の総合学習支援を行っており、身近な自然に関心をもち、地域に残されている八竜緑地の貴重さに気づいてもらえるよう、子供たちと八竜の自然を楽しんでいます。

尾張支部自慢

尾張支部 内海 勇夫

尾張支部の観察地は、名古屋の北部を取り巻くように位置しています。定点では木曽川下流（一宮138タワー）から善師野（犬山）・築水池（春日井）・定光寺・海上の森（瀬戸）・森林公園（尾張旭）・明德公園（名古屋）・日進岩藤川（日進市）の観察会があります。尾張北部自然観察会は犬山の「さら・さくら」に集合し、車に乗り合わせて毎回違う観察地に出発。稲作り体験&観察会は岐阜県八百津町野田圃で作業と観察、夏には蛍などの観察をします。各担当者が、それぞれの特徴を生かした観察会をしています。でも一宮から日進まで名古屋をまわっておよそ40kmも離れています。車で走っても1時間以上かかるし、電車やバスではとても回れる地点にはなく、お互いの観察会に参加することがなかなかできません。

では、それぞれの観察会をワンポイントで紹介します。

・木曽川下流自然観察会

一宮の公園内を巡りますが、狐の巣穴など意外な発見もあります。



河原の狐の巣穴の観察

・善師野自然観察会

犬山の善師野を中心に、本宮山や可児やすらぎの森などにも出かけています。

・築水池自然観察会

シデコブシを中心とした湿地・溪流にいろいろな動植物を見ることができます。

・定光寺自然観察会

定光寺公園を中心に、豊かな自然の残るちょっと昔っぽい地域を回っています。

・海上の森自然観察会

海上の森は、森・谷川・池・湿地の中で、状況に応じて動植物の観察をしています。

・森林公園自然観察会

森林公園、誰でも気楽に参加できる観察会で楽しく巡って自然の魅力を発見！



湿地の観察風景

・明德公園自然観察会

名古屋の公園ですが、子供たちを対象にした観察会をしています。

・日進岩藤川自然観察会

感性を大切にしたい生き物との出会いを楽しみ、季節を満喫したいと活動しています。

・尾張北部自然観察会

七宗本谷・伊吹山・郡上大和・アライダシ・八曾など季節に合わせて出かけます。

・稲作り体験&観察会

自然の環境を生かした米作りと、蛍などの自然を楽しんでいます。



シデコブシ

新指導員紹介

2021 年、愛知県「オンライン・小幡緑地本園現地実習」で指導員講習会を受け、県協議会に入会された 12 名の方の自己紹介です。

・池田千賀子(西三河)：「子どもと自然とアート」をテーマに美術関係の仕事をしています。森林や木育などに興味があり、勉強したいと思っています。よろしくお願いいたします。

・石川怜奈(尾張)：私は、瀬戸市の「海上の森」と長久手市のモリコロパーク内の「もりの学舎」でインタープリターをしています。また、公園内を走っているバスの添乗員もしています。今、していることを自然観察の活動の中で生かし、自ら行動し、体験して、自然の大切さを伝えていきたいと思っています。

・岡島栄子(名古屋)：自宅が自然に恵まれた地域にあり、尾張丘陵地区の観察会や湿地の保全活動に参加しています。最近、湧水湿地の貴重種や外来種のバランスを思案中です。よろしくお願いいたします。

・桐山 誠(東三河)：労働安全衛生に係る業務をしています。もっと自然に触れ合うことで、健康でポジティブになれる事を目指し、自身の体験を通して共感者を増やしていきたいと思っています。多少は体力も必要ですが、程よい疲れもたまには良いものです。講習会で学んだ「見るから観る」と「気づき」。理屈抜きで楽しい観察活動を皆さんと一緒に無理なくしていきたいです。

・後藤めぐみ(名古屋)：名古屋市の東山公園や平和公園によく行きます。家族で 1 万歩コースを歩くこともあります。ジョギングすることもあります。その中で自然に触れる愉しみを味わいたいです。また幼児教育にたずさわっており、こども達が自然(虫・植物)と親しみ、興味をもってもらえるように活動していきたいです。どうぞよろしくお願いいたします。

・佐々木満作(名古屋)：自然や緑に興味があり、これからより深く知りたいと思っています。よろしくお願いいたします。

・三重県 陣田浩次：よろしく。

・中西 修(知多)：自然やアウトドア活動が好きで、八ヶ岳の麓で自然を楽しむ中、自然保護に興味を持ち日本自然保護協会の会員になりました。指導員の資格を取得することで、今まで以上に自然との関わりを持ちたいと思っています。皆さんと共に活動を行っていきたく思いますので、宜しくお願い致します。

・真島大仁(名古屋)：指導員講習会では講師の皆さん、NACS-J の皆さん、指導員の皆さん、参加者の皆さんの熱い思いを感じました。受け取ったその情熱を育んで、聖火リレーのように、指導員の皆さんや観察会等の参加者の皆さんと繋ぎシェアして、走り続けたいと思います。よろしくお願いいたします。

・松吉久美子(尾張)：昔は虫取り少女でしたが、思春期に入ってから人の目をはばかり、捕虫網を捨てました。ただ愛しいものをあきらめきれず目で探し、目で追い、目に焼き付けていました。還暦になってのカミングアウトです。虫、大好きです。

・吉田めぐみ(名古屋)：今回、「自然観察指導員養成講座」に参加させていただきとても勉強になりました。無事に腕章もいただくことができ、意識が高まりました。これから身近な観察会から参加をして、先輩方からいろいろと学んでいきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

・渡辺 泰(名古屋)：水商売(名古屋の水道局)で生きてきましたが、あと 1 年ちょっとで定年退職です。スパッと違う世界で生きていきたいと思っています。北区味鋤で農協菜園「身土不二」といいますが、自然(しぜん・じねん)が全てだと思います。

新指導員紹介

2021 年、愛知県「オンライン・小幡緑地本園現地実習」で指導員講習会を受け、県協議会に入会された 4 名の方の自己紹介です(前頁の続き)。

・占部実李(尾張)：初めまして。普段の仕事は自然とは関係なく知識もない素人ですが、山や川などの自然が大好きで、自然を守るために自分に何ができるか探したくて、入会しました。仲間作りもできたら嬉しいです、よろしくお願いします。

・佐々木辰夫(名古屋)：これまで 15 年間ほど園芸福祉の活動をしています。子供から高齢者、障害をもった方等、いろいろな方々と一緒に、可能な範囲の自然観察を楽しみたいと考えています。連絡協議会に加入させていただき、諸先輩方いろいろなとお教えいただきながら、学んでいきたいと存じます。何卒宜しくお願い申し上げます。

・鈴木仁和(名古屋)：名古屋市中区在住の鈴木と言います。高校の生物の教師より野鳥や Nature walk を通して自然の尊さと、社会の中におかれている自然について学び、愛する自然を守りたいという気持ちが育まれていました。それがこんなところでこんな形で、自分の中から芽を出すとは、夢にも思いませんでした。できる限りですが、参加させていただきます。宜しくお願いします。

・民法紗希(知多)：はじめまして、民法紗希と申します。春日井に住んでおりますが、海での観察会がやりたいと思い、知多支部を希望しました。今年 7 月に自然観察指導員の講習を受けたばかり、普段も自然観察とは全く違う仕事をしており、まだまだ初心者ですが、これから経験や勉強を重ねていきたいと思っていますので、色々ご教授頂けると幸いです。宜しくお願いいたします。

<編集後記>

自然観察指導員講習会の 7 月 24 日(土)はオンライン講義、7 月 25 日(日)は県営小幡緑地本園(守山区)で野外実習を行いました。2 年に 1 度の協議会の会員を増やすチャンス、全受講生 37 名のうち県内受講生は 28 名。県内外から 16 名の方に協議会に加入していただきました。2 年前に協議会に入会された方に、現在の様子を聞いてみました。よかったことその 1 いろいろな人と出会える。その 2 様々な研修があり、新しい知見が得られる、だそうです。喜びや楽しみを分かち合い、自然と人、人と人を繋いでいく役割を担っているのが自然観察指導員です。是非、研修会や観察会に足を運んでいただきたいと思います。

編集スタッフ	石原則義 内海勇夫 岡田雅子 馬場隆之 平山希能
協議会ニュース編集部	石原則義 事務局に同じ

愛知県自然観察指導員連絡協議会(あいち自然観察会)事務局 石原則義

〒464-0096 名古屋市千種区下方町 7-3 TEL/FAX : 052-711-3087

E-mail : norinameobata@yahoo.co.jp Web Page : <http://anoicm.sakura.ne.jp>

郵便振替口座 : 00820-9-6546 (名義 : 愛知県自然観察指導員連絡協議会)

愛知県自然観察指導員連絡協議会(あいち自然観察会)機関誌「協議会ニュース」171 号 2021 年 9 月発行